



矢野ゆたか市長 所信表明

昨年3月の東日本大震災では、甚大な被害が発生し、全国にも深刻な影響を与えました。国は23年度、東日本震災復興のため第4次補正まで行いましたが、「平成24年度予算の基本方針」でも震災復興が重点となっております。

「平成24年度予算の基本方針」
一般財源総額は、前年度比1、251億円、0・2%の微増で、

地方財政をめぐる動きと 狛江市の行財政運営

平成24年（西暦2012年）
狛江市議会第1回定例会にあたり、平成24年度狛江市一般会計

予算案の概要等の説明を中心に、
新年度における狛江市の市政運営方針を申し上げます。

平成24年度は新基本構想に掲げた「私たちがつくる水と緑のまち」の実現に向けた、これまでの取り組みを結実させるとともに、さらなる高みを目指して市民と新たな仕組みづくりに動き出す年度となります。

2月22日(水)開催の第1回定例会において、市長は平成24年度の市政を進めるに当たって基本的な考え方や所信を表明しました。そのあらましをお知らせします。

〔問い合わせ〕財政課

平成24年度 (2012年度) 所信表明

「私たちがつくる水と緑のまち」へ前進 新たな仕組みづくりによる市政運営へ

それでは新年度予算案の概要について、説明申し上げます。数字は概算となりますが、特別会計を含めた予算総額は406億6,000万円、0・1%の増で、そのうち一般会計予算は245億7,800万円、前年度比6億5,800万円、2・6%の減となりました。

平成24年度 一般会計予算案等の概要

一般会計の歳入では、市税が前年度比で1億3,400万円の減額ですが、主に固定資産税の評価替えによるものです。地方譲与税や利子割交付金など税連動交付金は増減がありますが、差し引き3,100万円の増となりました。地方交付税は17億9,100万円、前年度比7・

一般会計の歳入では、市税が前年度比で1億3,400万円の減額ですが、主に固定資産税の評価替えによるものです。地方譲与税や利子割交付金など税連動交付金は増減がありますが、差し引き3,100万円の増となりました。地方交付税は17億9,100万円、前年度比7・

中期財政フレームに基づき、23年度と同水準が確保されました。年少扶養控除の廃止などから、地方税および地方譲与税は全体として1・0%の増が見込まれていますが、固定資産税の評価替えにより市町村税としては0・5%の減となっています。

また、臨時財政対策債は0・4%の減としていますが、市町村税が減少することから市町村分は0・2%の増であり、人口基礎方式から財源不足額基礎方式への移行により、交付団体においてはこれ以上の増が予測されます。高齢社会の進展により介護保険、後期高齢者医療特別会計への繰出金の増加が見込まれ、さらに生活保護受給者数は昨年11月時点で207万人強と過去最多になるなど、市町村の財政負担は増加傾向にあり、一層の歳出削減が求められています。

子どものための手当では国と地方の費用負担を2対1とされ、年少扶養控除の廃止による増収分に対して、地方特例交付金や国庫補助金が見直されるなど、地方財政は引き続き厳しい状況にあります。

狛江市の22年度決算では、これまでの職員数削減などの取り組みや一般財源収入の増により経常収支比率が91・1%と大幅に改善し、19年度決算から始まった健全化判断比率も着実に向上しています。しかし、23年度決算では、一般財源収入の減や社会保障関係費の増などにより悪化が見込まれ、さらに景気の低迷を考慮したとき、財政基盤強化の手を緩めることはできません。24年度は行財政改革推進計画の見直し年度でもあり、引き続き全庁挙げて行財政改革に取り組んでまいります。

4月1日から、狛江市多摩川河川敷の環境を保全する条例を施行します。

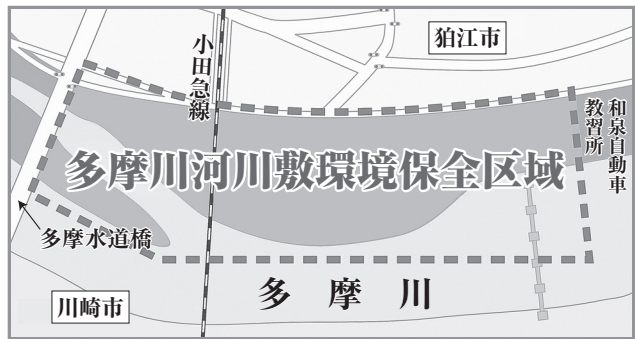
〔主な内容〕

▽多摩川河川敷環境保全区域（下図参照）でのバーベキュー等および花火の禁止

▽保全区域内でバーベキュー等および花火をしようとする者に対し、勧告を行います。

▽平成25年4月1日から、勧告を受けた者がこれに従わない場合は、2万円以下の過料を科します。

※保全区域の指定・変更・解除は、市長の告示によって行います。



〔問い合わせ〕環境管理課 環境整備係

9%の増を見込んでおります。

国庫支出金は、子ども手当の制度改正や道路事業に伴う補助金等によって4億2,900万円減額となり、都支出金2億7,000万円の増額は主に保育所緊急整備事業補助金によるものです。繰入金では、駒井保育園改築工事や庁舎耐震改修および増築工事で公共施設整備基金を、上和泉地域センター改修工事で公共施設修繕基金を、それぞれ活用しました。市債5億900万円の減額は、教育債3億9,700万円、民生債2億6,000万円、土木債1億4,400万円の減、総務債3億5,400万円の増が主な要因です。歳出では、総務費が5・9%の増ですが、庁舎耐震改修およ

2面へ続く

平成24年度予算案の主な事業、新年度における主な取り組み等について

次に、平成24年度予算案の主な事業、新年度に予定している主な取り組み等について、説明申し上げます。この予算編成にあたっては、限られた財源の中、財政調整基金に頼らない収支均衡型財政の維持を念頭に、編成方針で示した5つの重点課題の具体化を図るとともに、20年市長選挙で掲げた「6つのビジョン」の実現を軸に作業しております。また東日本大震災をはじめこの1年間の政治・社会の動向や狛江市政の発展段階で生じた新たな課題を念頭におきながら、的確に対応していくことに留意しました。

それでは、24年度の狛江市の取り組みを紹介いたします。

まずは、昨年1月に掲げた「東京一安全な都市」「狛江」の実現へ

「東京一安全な都市」「狛江」の実現へ

まずは、昨年1月に掲げた「東京一安全な都市」「狛江」の実現へ、市民がその目標を共有し、また前進していることを実感できるような事業展開に努めました。特に東日本大震災を踏まえ、震災対策に総額12億円余を投入いたしました。その象徴として、庁舎耐震改修の中で防災センターを建設することとし、新年度から3年計画で完工します。いざという時、直ちに災害対策本部が行動できるようにするとともに、市役所の基幹系システムをここに移設することによって、災害後でも業務の継続を可能にするものです。同時に深井

ます。

戸を設置し、緊急時の飲料水確保を図ります。また防災行政無線が、都市化で一部聞こえづらくなったため、防災行政無線の内容を電話で確認できる自動応答装置を導入します。

三・四中の校舎耐震等改修、駒井保育園の改築工事を年次計画に沿って実施しますが、学校施設はこれで耐震化を全て完了し、保育園は今後4年以内に改修等が終わります。小・中学校や保育園などに災害時緊急連絡用としてPHSの配備、備蓄用倉庫の修繕、防災用貯水槽の設置など、きめ細かな対策も講じています。災害時、支援の必要な方々のために、要援護者避難支援プラン策定調査および支援情報システム運営支援のための予算を計上しました。また市管理下にある橋りょう10カ所の長寿命化計画を策定する他、市民向けに、市消防団員による普通救命講習やスタントマンを活用した交通安全教室の開催など、安全意識の高揚に努め、都制度による緊急輸送道路沿道の建築物耐震化を促進します。

新年度は、平和都市宣言30周年にあたりますので、戦争のない平和な社会を目指す決意を込めて記念事業を市民協働で実施いたします。

またソフト面においては、若い世代の子育てを支援するため、子育て世代に市内の協賛店で割引等の特典が受けられるカードを交付する子育て応援事業を始め、他、「赤ちゃんが来た」、「子育てメッセ」など子育て事業を充実し、昨年開設した子育てサ

イトには「おでかけマップ」や「育ちの森サイト」を構築します。要保護児童対策として「トリプルP」事業を立ち上げ、子どもたちの悩みを受け付ける民間のチャイルドライン事業への補助も始めます。ファミリーサポートセンターでの病後児保育実施のための準備、幼稚園に対する巡回員の時間増を行い、さらに、放課後の全児童対策であるフリープレイについて、六小、和泉小でも3季休業中の開設をしますが、これで全校が実施することになります。

「子育て一番のまち」「狛江」を目指して

続いて「子育て一番のまち」を目指す取り組みを説明いたし

市民との協働事業として緑の実態調査を行いました。新年度はこの成果を生かしながら「緑の基本計画」を改定します。

また、計画段階から市民参加で設計をまとめた清水川跡地の緑道は、工事に着手をいたします。

環境に配慮した公共施設づくりを進めています。新年度は五小に続いて六小でも校庭の芝生化を進め、「緑のカーテン」を六小・和泉小・一中に設置します。市庁舎耐震改修や保育園改修などにおいても、緑化や再生エネルギーの導入に努めます。

原子力発電に頼らないエネルギー政策を促進しようと、太陽光発電ならびに太陽熱利用の装置設置に対する助成を復活させるとともに、市施設の電力供給契約を入札によって実施し、特定規模電気事業者（PPS）の参入を促します。また庁用車に電気自動車を試行的に導入し、地域においても都の環境対応型特定施策商店街補助事業を活用し、街路灯はLED等に積極的

に切り替えていきます。

4月から「多摩川河川敷の環境を保全する条例」を施行しますが、監視・指導のための人員を配置し、バーベキュー等禁止の周知とその徹底を図ってまいります。

環境に配慮した水と緑のまちづくりを

環境に配慮した水と緑のまちづくりを

第3次基本構想の将来都市像「私たちがつくる水と緑のまち」の実現に向けて、環境に配慮したまちづくりを進めてまいります。今年度、東京農業大学、

とともに、特定健康診査の際、前立腺がんの検診も行い、受診率の向上に努めてまいります。

子育て世代を対象とした食育推進事業として離乳食教室を年3回開催します。あいとびあ健康まつりでの健康相談が好評ですが、市役所でも同様の健康相談を開設し、また保健師の増員など、相談の充実を図ります。

市では、本議会に狛江市福祉基本条例改正を上程しています。これはバリアフリーからユニバーサルデザインの考え方に転換させるものです。それに対応し公共施設は改修時に誰もが使いやすい施設へと改善しておりますが、24年度は市民センターで多目的トイレ等改修、上和泉地域センターでエレベーターの改修などを行います。民間施設でもユニバーサルデザイン化を促進するため、基本条例に沿って福祉環境を整備する場合、50万円を限度に工事費を補助することといたしました。

障がいのある方々の自立と社会参加を願って、地域自立支援協議会による社会資源マップの作成に加え、介護者に対する送迎用車両のガソリン費助成、知的障がい者生活寮（ケアホーム）の新設、障がい者通所施設等の法定移行に伴い、財源不足となった場合の補てん、さらには虐待に対する障がい者の保護室を確保します。

高齡世代に対しては、今年度市内3つ目の特別養護老人ホームを七小跡地に建設するための法人選定を行い、「孤独死ゼロ」を願って始めた「あんしん見守りサービス」では利用者数を拡大いたします。

ここで第5期介護保険事業計画が始まりますが、昨年来サービス給付費が急増していることから、第5期計画期間中の介護保険料基準額は現行の月額3,950円から4,971円になる見込みでした。しかし高齡者の経済状況を勘案し、給付費準備基金から2億7,800万円を投入して引き上げ幅を圧縮し、基準額を4,500円に設定いたしました。また、第3段階を分割し低所得者層の負担軽減に努めております。

魅力と賑わい、快適な狛江のまちを

魅力と賑わい、快適な狛江のまちを

平成25年の東京多摩国体会場となる市民総合体育館では、年次計画で大規模改修を進めてきましたが、新年度は体育室の床・照明の改修工事に入ります。また借地だった自転車置場の返還に伴い敷地内に新たな駐輪場を設置いたします。

今年度から実施される啓発イベント「スポーツGOMI拾い大会」は新年度も継続するとともに、リハーサル大会開催に必要な経費も合わせて計上しました。そのほかスポーツ分野では、市民グラウンドを改修するための実施設計費、新築した二中プールの地域開放経費も盛り込みました。

昨年発見された猪方小川塚古墳については土地の取得予算を計上し、市制施行50周年を視野に入れた新市史編さん事業もいよいよ始まります。市ではこれを契機に、歴史的公文書管理制度を構築し、文書保存期間経過

後も歴史的な価値がある行政文書等を保存することにしました。これまで延べ25万人近くが利用している市立古民家園では主屋座敷等を修繕し、市指定文化財としての説明板を泉龍寺とともに設置します。

昨年、狛江市観光協会が組織再編を行い、新たな一歩を踏み出しましたが、今後多摩川貸しボートの活用、多摩川いかだレースへの支援・連携などを進めるため、補助金を増額しております。

文化面では、「音楽の街」狛江」の発信拠点エコルマホールの天井耐震補強および舞台設備等を修繕し、「絵手紙発祥の地」事業では、長岡市川口地域との「ふるさと交流25周年記念」を兼ねて絵手紙教室を川口地域で開催いたします。また「絵手紙」包装紙を作成し商店で購入・活用していただくことになりました。公民館では新たに親子囲碁教室、イクメン事業、木育事業を実施し、図書館では4日間の祝日開館を試行的に行います。

産業振興では、市内空店舗情報とを伴い、創業支援の融資あつ旋総額も拡大しております。隔年で元氣わくわく事業を実施していますが、24年度はランチを

今後、目指すべき方向

以上、予算案を中心に新年度の主な事業を申し上げました。他に「市民のためにがんばる市民役所」づくりでも、市民の利便性向上のために、税のコンビニ収納、MPN口座振替サービス、

テーマに行います。住環境整備とともに建設関連業種の仕事起

こしとなる住宅改修資金助成は新年度も継続し、就職活動の支援セミナーも時間増を図ります。

農業分野では、農業経営改善計画および都市農業経営パワーアップ事業への補助を継続し、また市民に農業を身近に感じてもらうと、西野川に創設される55区画の体験農園に対し助成することとしました。

都市基盤の根幹となる道路について、3・4・16号線七差路整備では用地取得を、市道34号線では整備工事を継続し、3・4・4号線ならびに市道32号線の歩道を整備します。市道11号線では、岩戸児童センター付近での道路維持工事と一の橋通りの歩行者安全対策として路側帯カラー舗装を行います。また、市民提案を生かした小金橋南交差点の改良工事に向けて用地取得をいたします。

市民活動の拠点となる地域センターは一部老朽化が進んでおり、公共施設再編方針に基づき、上和泉地域センター改修、南部地域センター改修工事設計、岩戸地域センター改修基本設計の各予算を計上し、谷戸橋地区センターでは多目的室の防音対策を講じます。

のパートナーシップ確立へ、全力を尽くしてまいります。

狛江市ではこの間、「三位一体の改革」による市財政の危機を市民の理解と職員の頑張りで打開してきました。その後も467人体制の定着や新しい課題への対応に努めてまいりましたが、これらを助走期間として、新年度はさらに高い段階へ市政を止揚させる時期となっています。

前述の福祉基本条例改正の他に、まちづくりの土台である市民の参加と協働ではこれまでの到達点に基づき、基本条例の改正作業を進めています。また「東京一安全な都市」狛江」の実現に向けて、この理念や推進体制を明らかにした、おそらく全国で最初の安心安全に関する総合的な基本条例を6月議会に上程する予定です。

今、基本条例だけでなく、新年度だけでも環境基本計画、緑の基本計画、まちづくり条例、地域防災計画等の改正作業やその準備に入ります。本予算案の遂行とこうした新たな仕組みづくりは「東京一安全な都市」「自立した魅力ある都市」「子育て一番のまち」あるいは「住民自治のまち」へさらに接近させていくものです。「協創」を通じてこれらの挑戦が、狛江の市政運営やまちづくりを大きく飛躍させることになると確信しています。

議員各位におかれましては、住み良いまちづくり、市民福祉向上のために、それぞれのお立場から一層ご尽力のほどお願い申し上げます。新年度の所信表明といたします。

東日本大震災 一周年の日にあたって

平成23年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生しました。犠牲となった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興を心より願っています。

当日のテレビからは、襲いかかる津波、その後の福島第一原発での爆発など、想像を絶するような事態が次つぎと伝えられてきました。亡くなったたり行方不明になった人々は約2万。辛うじて生き延びた被災者の多くも、生活や人間関係が突然断ち切れ、これからどうしたら良いのか不安の日々が始まりました。それから1年。いまだに復興の道筋は見えていません。政治の責任はもろろん大きいものがありますが、今は全国民が復興に向けて何が出来るのか真摯に考え、被災地支援を我が事として行動することが強く求められています。震災瓦礫の処理を含めて、狛江市は被災地支援に継続して取り組んでいく所存です。



狛江市は大震災発生後、ま

ず市役所内はもとより市内関連3駅で市民団体の皆様と一緒に職員が義援金を呼びかけました。平成24年2月末現在で総額2,043万7,934円が寄せられ、当初は全国市長会を通じて被害の大き

かった津波、その後の福島第一原発での爆発など、想像を絶するような事態が次つぎと伝えられてきました。亡くなったたり行方不明になった人々は約2万。辛うじて生き延びた被災者の多くも、生活や人間関係が突然断ち切れ、これからどうしたら良いのか不安の日々が始まりました。それから1年。いまだに復興の道筋は見えていません。政治の責任はもろろん大きいものがあります。今は全国民が復興に向けて何が出来るのか真摯に考え、被災地支援を我が事として行動することが強く求められています。震災瓦礫の処理を含めて、狛江市は被災地支援に継続して取り組んでいく所存です。

また、市民団体と共催して支援物資を集め、社会福祉協議会と連携して支援ボランティアバスツアーを2回実施するなど、皆様の被災地を想う温かいお気持ちに支えられ、多様な取り組みを進めてきました。さらに市民の皆様には、節電などに変な協力をお願いしました。また、防災行政無線・ホームページ・防災行政無線・こまえ安心安全メール等のほか、26市23区で初の試みとして大震災直後からツイッターを活用しながら情報伝達に努めました。また、電力不足対策として、市公共施設の節電をはじめ、夏は企業の休業日の工場等稼働に対応して保育園で児童の受け入れも行いました。福島第一原発の事故による放射性物質については市民の

不安が広がっていることから、放射性物質の定期測定、保育園・学校の給食食材の放射性物質の測定等を行っています。こうした震災対応とともに、狛江市ではいま安全なまちづくりに全力を挙げています。とりわけ、昨年1月に掲げた「東京一安全な都市」狛江」の実現に向け、市民の皆様が目標を共有し、前進していることを実感できるような事業展開に努めているところです。

詳しくは、所信表明で述べているように、新年度には、震災対策に総額12億円余を予算計上し、今後3年計画で行う庁舎耐震改修の中で防災センターを建設することにした。いざという時、直ちに災害対策本部が行動できるようになるとともに、市役所の基幹系システムをここに移設します。災害後でも業務の継続を可能にするものです。同時に深井戸を設置し、緊急時の飲料水確保を図ります。また、防災行政無線の内容を電話で確認できる自動応答装置の導入や小中学校・保育園などへの災害時緊急連絡用PHSの配備など情報伝達の強化策も講じています。新年度、三中・四中の校舎耐震等改修で、学校施設は耐震化を全て完了し、保育園は今後4年以内に改修等が終わります。

さらに災害時、支援の必要な方々のために、要援護者避難支援プラン策定調査及び支援情報システム運営支援の取

り組みを急ぐとともに、市管理下にある橋りょう10カ所の長寿命化計画の策定や、市消防団員による市民向け普通救命講習を開催するなど、街の安全度を高めてまいります。これからも、災害に対する公的な役割を果たすため、安心安全を市の最優先課題と位置づけてまいります。しかし、大災害の発生直後は、被害が広範囲にわたるだけに、市役所はじめ消防署、警察署等の行政機関でその全てに対応することは困難です。平成7年の阪神淡路大震災のとき、どのように身の安全が守られたかという調査では、自助によるものが7割、共助によるものが2割で、行政機関による救助は1割に過ぎなかったと言われています。このことから発災時は、まず「自分と家族の命は自ら守る」という自助を基本に、「地域で助け合

う」という共助の精神で、数日間はがんばっていただくことがどうしても必要です。「災害はいつ起こるか分らない」ではなく、「災害はいつ起きてもおかしくない」との危機感を持って、必要な備えをそれぞれ心がけ、市民ぐるみで「東京一安全な都市」狛江」を築いてまいります。市は職員一丸となつてその先頭に立つてまいります。

平成24年3月11日

狛江市長
矢野やたか

平成24年度

当初予算案がまとまりました

平成24年度当初予算案がまとまりました。予算規模は、一般会計の予算額で見ると、245億7,800万円で前年度比 6 億5,800万円（2.6％）の減額となっています。

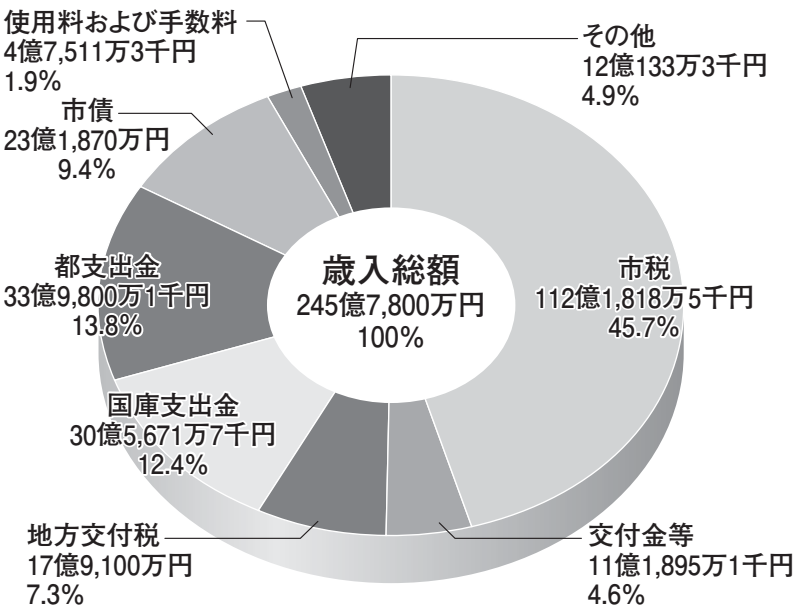
また、5 つの特別会計の予算総額は、160億8,175万円で、前年度比 7 億249万9,000円（4.6％）の増額となっています。

平成24年度の予算については、予算編成方針で示された 5 つの事項を重点として予算編成を行ってきました。

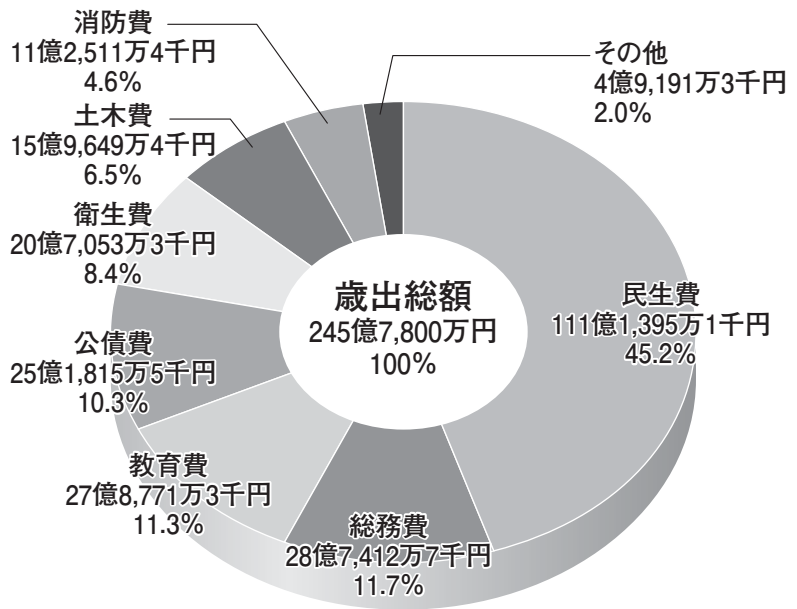
この予算案は、現在開会中の平成24年狛江市議会第 1 回定例会で審議されています。

〔問い合わせ〕財政課

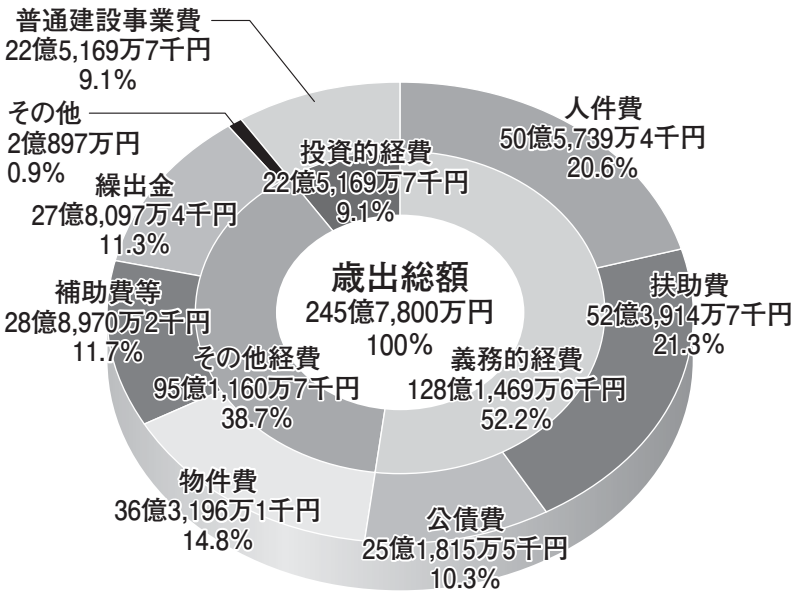
歳 入



歳 出



歳 出（性 質 別）



予 算 編 成 方 針

- 「東京一安全な都市」を目指す
今年、「東京一安全な都市ー狛江」を、市政の大目標に掲げたが、新年度予算編成においてはこの実現に向けて、積極的に取り組むものとする。各部においては、市民の生命や財産に対する危険を排除するため、それぞれの事業や計画に関連して現状分析・企画・立案に努め、効果的な政策展開を行う。
- 次世代育成のための環境整備
公立保育園においては、耐震改修を着実に遂行し、また待機児ゼロの道筋をつけるとともに、地域の子育て拠点の役割を果たしていく。情報提供や相談体制の構築、ネットワーク形成など、子育て家庭を支える環境を整備することに加え、青少年のまちづくりへの参加を促し、そのための場や機会を確保する。地域に開かれた特色ある学校づくり、子どもたちが必要な支援を受け学習しやすい環境づくりを進める。
- 誰にとっても安心・快適な地域づくり
ユニバーサルデザインの導入など、誰もが社会参加を行い、安心・快適に暮らせるまちづくりを進め、孤立した市民を減らすために、交流や絆づくりを強める。省エネルギー、再生可能エネルギーの活用 に努めつつ、市民や事業所等との協働の力で持続可能な社会を目指していく。また、公共施設の再編などを進める中で、多様な市民ニーズに応えていく。
- 狛江の魅力度向上へ
昨年度は、市制施行40周年事業を通して市民協働が前進し、市民の狛江に対する愛着も深まった。今後とも、観光協会の基盤強化、東京多摩国体開催等を契機に、市民の意欲を生かしながら、狛江の地域力を高め、市民文化を振興する。平和都市宣言30周年の記念事業はじめ、各部においても常に新しい挑戦を試み、職員の創意を引き出しながら、魅力ある狛江づくりを担っていく。
- 歩むべき狛江の姿を描く
平成23年度は、各基本条例の見直し、重要計画の策定や新条例の制定など、市政のさらなる高みを目指して、さまざまな作業が行われている。新年度はこうした取り組みを結実させ、これからの狛江の姿を一つひとつ具現化する時期にある。人材を計画的に育成しながら、「参加と協働でつくる自治のまち」、「市民のためにがんばる市役所」を目指して、確かな一歩を踏み出すものとする。

平成24年度 会計別予算規模

(単位：千円)				
区分	年度	平成24年度	平成23年度	対前年度比較
				増減額 増減率
一 般 会 計		245億7,800万	252億3,600万	△ 6 億5,800万 △2.6%
特 別 会 計		160億8,175万	153億7,925万1	7 億249万9 4.6%
国民健康保険		79億2,482万5	77億3,678万4	1 億8,804万1 2.4%
後期高齢者医療		15億8,780万5	14億7,343万5	1 億1,437万 7.8%
介護保険		46億6,626万4	40億6,881万6	5 億9,744万8 14.7%
公共下水道		18億3,836万2	20億3,448万2	△ 1 億9,612万 △9.6%
駐車場事業		6,449万4	6,573万4	△124万 △1.9%
総 額		406億5,975万	406億1,525万1	4,449万9 0.1%

平成24年度 市職員募集

平成24年度中における職員の欠員補充のため採用資格試験を実施します。

〔職種等〕下表参照

〔実施要項配布期間〕3月26日(月)まで職員課で配布※市ホームページからもダウンロードできます。

〔試験日〕4月15日(日)

※この試験は、平成24年度中に採用する職員の採用候補者を決定するために行うもので、平成25年度採用向けの試験ではありませんのでご注意ください。詳細は実施要項をご覧ください。

〔申し込み・問い合わせ〕3月26日(月)までに、職員課（3月22日(木)・23日(金)は午後8時まで受け付け）へ。

■職種・受験資格等

職 種	学歴区分	受験資格等	募集人員
一般事務	大学	昭和59年4月2日以降生まれの方	若干名

狛江市交通安全計画を 策定しました

狛江市交通安全計画は、安全で円滑な交通社会の確保に向けて、総合的かつ計画的に交通安全対策を行っていくための計画です。

これまで狛江市交通対策調整会議において審議を重ね、さらにパブリックコメントによる皆さんからのご意見を踏まえた上で検討を行い、策定しました。

計画は安心安全課で頒布（1部60円）している他、市ホームページからもご覧になれます。

〔問い合わせ〕安心安全課

基本理念

市民・行政機関・事業者等が

通社会を築き、究極的には交通事故のない社会の実現を目指します。

計画の目標

平成27年度までに年間の交通事故死者数ゼロおよび年間の交通事故事件数の減少を目指します。

重点施策

▽高齢者の交通安全の確保

高齢者向けの交通安全教育を充実させていくとともに、道路交通環境の整備を推進します。

▽自転車車の安全利用の推進

交通安全教育の充実を図り、自転車運転ルールの周知及び啓

ファミリー交通安全のつどい

春の全国交通安全運動 4月6日(金)～15日(日)

〔日時〕4月1日(日)午後2時～3時40分
〔会場〕エコルマホール
〔定員〕約700人※要予約

● 内容 ●

〔第一部〕式典

〔第二部〕交通少年団による交通安全教室

〔第三部〕アトラクション▽小足立ばやし（狛江市無形文化財）▽交通安全コンサート〔出演〕坂本冬休みさん（ものまねタレント）

〔申し込み・問い合わせ〕安心安全課または調布警察署 ☎042（488）0110へ。

自転車安全利用五則を ご存じですか

自転車は身近な乗り物で、健康に良く、環境にも優しい交通手段として利用者も増えていますが、それに伴い交通マナーの悪化が懸念されています。

自転車を利用する際は、交通ルールを守り、歩行者へ十分に配慮をしつつ、自転車同士では、お互い譲り合いにより安全に走行しましょう。

〔問い合わせ〕安心安全課

自転車安全利用五則

1 自転車は車道が原則、歩道は例外

自転車は歩道を通行できるのは、歩道通行可の標識がある場合、運転者が13歳未満70歳以上の方、身体の不自由な方、交通状況からみてやむを得ない場合のみです。

2 車道は左側を通行

自転車は



3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。

4 安全ルールを守る

▽飲酒運転の禁止▽二人乗りの禁止▽並進の禁止（並進可の標識がある場合を除く）▽夜間はライトを点灯▽交差点での信号順守と一時停止・安全確認▽傘差し運転等の禁止▽運転中の携帯電話使用等の禁止



5 子どもはヘルメットを着用

保護責任者は、13歳未満の子どもにヘルメットをかぶらせるようにしましょう。

自動車安全運転者 講習会

市内で歩行者等が死亡する交通事故が発生しています。交通安全を防止するため、交通ル

東日本大震災復興支援

狛江市内共通 商品券事業の結果

～ご協力ありがとうございました～

■特産物が当たる抽選および義援金の結果

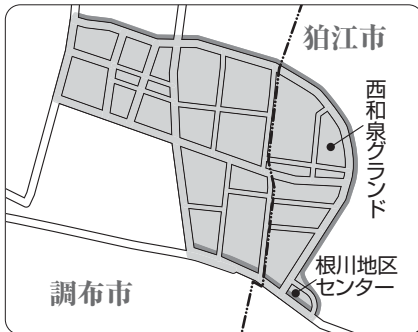
〔応募総数〕6,616人
〔当選者数〕100人(岩手県物産35人・宮城県物産35人・福島県物産30人)

〔義援金総額〕44万4,980円
〔問い合わせ〕地域活性化課地域振興係、狛江市商工会 ☎（3489）0178

地区まちづくり 協議会を 認定しました

市では、市民の皆さんからの発意をまちづくりに反映するため、各種の支援を行っています。このたび、多摩川住宅「街づくり（地区計画）協議会」の活動目的等を審査し、狛江市まちづくり委員会での答申を踏まえ、狛江市まちづくり条例に基づき地区まちづくり協議会として認定しました。

■協議会活動区域図



今後、協議会では市民発意のまちづくりを実現するため、話し合いの活動などを行います。〔問い合わせ〕都市整備課企画計画係

町会・自治会に 加入をしませんか

市内の各町会・自治会は、地域の皆さん相互の交流の機会を提供や、災害時に近所で助け合えるように日頃から避難訓練を行ったり、パトロールを通じての防犯活動、空き巣防止などの防犯活動、子ども見守りなどを協力して行っています。また、各

町会・自治会へまだ加入をされていない方は、加入して住みよいまちづくりにぜひご参加ください。※地域によって、町会・自治会組織がない地域があります。町会等を設立する時は設立準備会に対し、助成制度がありますので、ご相談ください。〔申し込み・問い合わせ〕地域活性化課市民活動推進係へ。

行政は「い」ごよう

● 3 月の日曜・夜間納税窓口の税の納め忘れはありませんか？

▽日曜納税窓口（日時）18 日（日）午前 9 時～午後 1 時・25 日（日）午前 8 時 30 分～午後 5 時

※ 4 月 1 日（日）午前 9 時から午後 1 時まで、臨時納税窓口を開設します。

▽夜間納税窓口（日時）29 日（木）午後 8 時まで

〔会場・問い合わせ〕納税課

● 4 月の臨時日曜窓口

〔日時〕1 日（日）午前 9 時～午後 1 時

〔開設窓口〕市民課・課税課・納税課 健康支援課保険年金係・子育て支援課手当助成係 ※取扱業務や必要書類等は、事前に担当課にご確認ください。

〔問い合わせ〕市民課

● 狛江市市民参加と市民協働に関する審議会市民委員募集

〔対象〕市民参加および市民協働に関心のある 18 歳（4 月 1 日現在）以上の市内在住・在学・在勤の方

〔募集人員〕8 人以内

〔任期〕平成 27 年 3 月 31 日まで

〔会議〕平日夜間年間 10 回程度を予定（他に分科会あり）

〔申し込み・問い合わせ〕4 月 13 日（金）（必着）までに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・生年月日・性別・電話番号、在学・在勤の方は勤務先または学校名を

明記の上、作文「狛江をよりよいまちにするための市民と市役所との関係」を 800 字程度（様式自由）にまとめ、持参・郵送または電子メール（kyodot@city.komae.lg.jp）で政策室協働調整担当へ。

● 70 歳から 74 歳までの方の医療費は 1 割負担のまま据え置き

国民健康保険に加入している 70 歳から 74 歳までの方で、高齢受給者証に「2 割（平成 24 年 3 月 31 日までは 1 割）」と記載されている方は、平成 25 年 3 月 31 日までの医療費は 1 割負担のまま、1 年間据え置きとなります。

対象の方には、「1 割」と記載された高齢受給者証を 3 月下旬に送付しますので、こちらをご使用ください。

なお、今までの受給者証は住所や名前などが分からないように細かく切り、可燃ごみとして廃棄してください。

※負担割合は、毎年 8 月 1 日に前年の所得に応じて見直します。

● 小型焼却炉・野焼き等でごみを燃やさないでください

ごみの焼却は、国の法律と都の条例で原則として禁止されています。処分する際は、野焼きや焼却炉によらない方法で適正な処理をお願いします。

〔例外となる焼却行為〕▽どん

ど焼きなど（伝統的行事・風俗慣習上の行事に伴うもの）▽キヤンプファイヤーなど（学校行事・社会教育活動上必要なもの）▽災害時の応急対策、防災訓練として必要なもの、農業を営む上で行わざるを得ないもの ※例外となる焼却行為であつても、煙が発生しないよう周辺環境に最大限の配慮をして行わなければなりません。近隣の理解を得るなど、苦情が発生しないよう十分に注意してください。

〔問い合わせ〕環境管理課環境整備係

● 狛江市長選挙立候補予定者説明会

〔日時〕4 月 19 日（木）午後 2 時から

〔会場〕4 階特別会議室

〔内容〕任期満了に伴う狛江市長選挙（6 月 24 日（日）執行）の説明会

※出席は総括・出納責任者等を含め 3 人以内でお願いします。

〔問い合わせ〕選挙管理委員会事務局

● 平成 24 年度「道路ふれあい月間」推進標語の募集

国土交通省では、道路の役割や大切さを認識していただくため、毎年 8 月を「道路ふれあい月間」と定めています。

〔対象〕小学生以上の方

〔応募部門〕▽小学生の部▽中学生の部▽一般の部（高校生以上）

〔募集テーマ〕みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきま

しょう

〔表彰〕賞状および盾を贈呈 ※一人何作品でも応募可。詳しくはホームページ（<http://www.wmlit.go.jp>）をご覧ください。

〔申し込み・問い合わせ〕3 月 30 日（金）（必着）までに、はがきに住所・氏名（フリガナ）・年齢・性別・電話番号・応募部門・作品を明記の上、〒100-8918 千代田区霞が関 2-1-3 国土交通省道路局道路交通管理課（5253）8111 へ。

● 障害基礎年金をご存じですか

国民年金の加入中等に初診日がある病气やけがなどで障がいの状態になったとき、障害認定日（初診日から 1 年 6 カ月を経過した日またはその期間内に症状が固定した日）において、障害等級の 1 級または 2 級に該当した場合は、障害基礎年金を受給できます。ただし、初診日の前日において、初診日の属する月の前々月までの被保険者期間のうち、保険料納付済期間と免除期間（若年者納付猶予期間・学生納付特例期間を含む）を合わせた期間が 3 分の 2 以上必要になります（初診日が平成 28 年 3 月 31 日以前にあるときは、特例として初診日の前々月までの直近の 1 年間に未納がないこと）。

審議会等の公開

●第 11 回狛江市市民参加と市民協働に関する審議会

〔日時〕3 月 21 日（水）午後 7 時から

〔会場〕4 階特別会議室

〔案件〕市民参加と市民協働の推進に関する基本条例改正素案に対するパブリックコメントの回答案と改正案の答申について

〔問い合わせ〕政策室協働調整担当

●第 5 回狛江市生活安全対策協議会

〔日時〕3 月 23 日（金）午後 3 時から

〔会場〕狛江市役所小田急線高架下分室 103・104 会議室

〔案件〕防犯講演会の結果について

〔問い合わせ〕安心安全課

●第 7 回（仮称）狛江市安心安全基本条例策定検討委員会

〔日時〕3 月 26 日（月）午後 3 時から

〔会場〕狛江市役所小田急線高架下分室 103・104 会議室

〔問い合わせ〕安心安全課

●第 7 回狛江市市民福祉推進委員会

〔日時〕3 月 22 日（木）午後 6 時 30 分から

〔会場〕4 階特別会議室

〔案件〕地域福祉計画の策定について

〔問い合わせ〕福祉サービス支援室総合調整担当

高額な外来診療を受けられる方へ

4 月 1 日から、高額な外来診療を受けたときに、「限度額適用（・標準負担額減額）認定証」などを提示すると、1 カ月の同一医療機関等の窓口での支払いが一定の上限額までになります（左表参照）。

●70 歳未満の国民健康保険加入者

「国民健康保険被保険者証」を持参の上、申請してください。ただし、国民健康保険税を滞納している場合は交付できません。

●70 歳から 74 歳までの国民健康保険加入者および後期高齢者医療加入者

住民税非課税世帯の方のうち、国民健康保険の加入者は

「国民健康保険被保険者証」および「高齢受給者証」を、

後期高齢者医療の加入者は「後期高齢者医療被保険者証」および「印鑑」を持参の上、申請してください。

※住民税非課税世帯以外の方は、「高齢受給者証」または「後期高齢者医療被保険者証」が認定証を兼ねているため、申請の必要はありません。

●「限度額適用（・標準負担額減額）認定証」をお持ちの方 4 月 1 日以降も、現在お持ちの認定証を有効期限まで使用することができますので、手続きの必要はありません。

〔申請先・問い合わせ〕健康支援課保険年金係へ。

■70 歳未満の国民健康保険加入者の自己負担限度額（1 カ月あたり）

	3 回目まで	4 回目以降（※ 1）
上位所得者（※ 2）	15 万円＋総医療費が 50 万円を超えた場合は、超えた分の 1 %	8 万 3,400 円
一般	8 万 100 円＋総医療費が 26 万 7,000 円を超えた場合は、超えた分の 1 %	4 万 4,400 円
住民税非課税世帯	3 万 5,400 円	2 万 4,600 円

※ 1 過去 12 カ月間に、高額療養費の該当（限度額適用認定証などを使用した場合を含む）が 4 回以上あった場合、4 回目以降の限度額です。
※ 2 上位所得者とは、基礎控除後の所得が 600 万円を超える世帯です。なお、所得の申告がない場合は上位所得者とみなされます。

■70 歳から 74 歳までの国民健康保険加入者および後期高齢者医療加入者の自己負担限度額（1 カ月あたり）

	外来の限度額（個人ごと）	入院を含む場合の限度額（世帯ごと）
現役並み所得者（3 割）	4 万 4,400 円	8 万 100 円＋総医療費が 26 万 7,000 円を超えた場合は、超えた分の 1 %（4 回目以降は 4 万 4,400 円）
一般	1 万 2,000 円	4 万 4,400 円
低所得Ⅱ（※ 3）	8,000 円	2 万 4,600 円
低所得Ⅰ（※ 4）	8,000 円	1 万 5,000 円

※ 3 低所得Ⅱは、被保険者全員と世帯主が住民税非課税の世帯に属する方で低所得Ⅰ以外の方です。
※ 4 低所得Ⅰは、被保険者全員と世帯主が住民税非課税の世帯（年金収入が 80 万円以下）で、その他の所得のない世帯に属する方です。

健康と衛生

健康診査

Health

■1歳6カ月児健康診査

〔日時〕 4月2日(月)受付時間は午後1時～1時30分〔対象〕平成22年9月生まれの幼児〔持ち物〕母子健康手帳・問診票・保険証・現在使っている幼児の歯ブラシ※対象者には個別に問診票を送付しています。

〔会場・問い合わせ〕健康支援課健康推進係（あいとびあセンター） ☎（3488） 1181

■3歳児健康診査

〔日時〕 4月12日(木)受付時間は午後1時～1時30分〔対象〕平成21年3月生まれの幼児〔持ち物〕母子健康手帳・問診票・目と耳のアンケート・尿・保険証※対象者には個別に問診票を送付しています。

〔会場・問い合わせ〕健康支援課健康推進係（あいとびあセンター） ☎（3488） 1181

■妊婦歯科健診

〔日時〕 4月20日(金)受け付けは午後1時から（3時30分終了予定）〔対象〕妊娠中の方※妊娠中期にお受けください〔定員〕20人〔内容〕歯科健診・ブラッシング指導〔持ち物〕母子健康手帳・歯ブラシ・コップ・手鏡・

筆記用具

〔会場・申し込み・問い合わせ〕健康支援課健康推進係（あいとびあセンター） ☎（3488） 1181へ。

教室

Health

■老人クラブ連合会「棒体操講演会」

〔日時〕 3月23日(金)午後2時～4時〔会場〕上和泉地域センター〔内容〕日常使わない筋肉を楽しく動かします〔講師〕岡部智美さん

〔問い合わせ〕介護支援課高齢者支援係

■こまえ苑「4月の介護予防普及啓発事業」

▽自宅でできる介護予防体操〔日程〕 13日(金)〔講師〕新福祐子さん

▽足腰を元気にする体操〔日程〕 19日(木)〔講師〕井上裕代さん

▽アロマ健美操〔日程〕 25日(水)〔講師〕棚島和佳恵さん

各日〔時間〕 午後1時30分～3時〔定員〕 先着20人※水分は各自準備し、運動の際は動きやすい服装・上履きをお持ちください。〔会場・申し込み・問い合わせ〕こまえ苑 ☎（3489） 2422へ。

■あいとびあ地域包括支援センター「4月の介護予防普及啓発事業」

〔日時〕 18日(水)午前10時～正午〔会場〕あいとびあセンター〔定員〕 先着15人〔内容〕 いきいきボランティア参加で閉じこもり予防〔講師〕 こまえ・ボランティアセンター職員※水分等は各自用意しお越しください。

〔問い合わせ〕 4月2日(月)からあいとびあ地域包括支援センター ☎（5438） 3565

健康相談

Health

■フロアー健康相談

自分や家族の健康のこと、食事のこと、子育てのこと等を保健師・管理栄養士・歯科衛生士などが相談に応じます。お気軽にご相談ください。

〔日時〕 3月23日(金)午前9時30分～11時30分

〔会場・問い合わせ〕健康支援課健康推進係（あいとびあセンター） ☎（3488） 1181

■育児相談／子どもの身長、体重も測れます

育児に関する悩みや相談、お母さん自身の心や体のことなどを保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士等が相談に応じます。

〔日時〕 3月28日(水)午前9時30分～11時30分〔持ち物〕母子健康手帳

〔会場・問い合わせ〕健康支援課健康推進係（あいとびあセンター） ☎（3488） 1181

小児初期救急
平日夜間診療

〔診療日〕月～金曜日（慈恵第三病院の休診日は除く）

〔受付時間〕午後7時～9時30分

〔対象〕15歳以下の急病の方※事前に電話をしてから受診

○慈恵第三病院内「狛江・調布小児初期救急平日準夜間診療室」 ☎（3488） 2061

休日診療

〔診療日〕 18日・20日・25日

〔受付時間〕午前9時～11時30分・午後1時～4時30分

〔会場〕あいとびあセンター

○休日応急診療所

☎（3488） 9121

○休日歯科応急診療所／40歳以上の方を対象にした成人歯科検診も実施

☎（3488） 9171

○休日診療薬局

☎（3488） 1519

24時間
医療機関案内

○ひまわり（東京都医療機関案内サービス）

☎（5272） 0303

○東京消防庁救急相談センター

☎ #7119、または ☎ 042(521) 2323

こまえ子育て応援カードを発送します

4月1日(日)子育て応援事業開始

〔問い合わせ〕子育て支援課企画支援係

◆対象

中学校3年生以下の子どもがいる世帯
※転入・出産により新たに対象となる場合は、申請が必要になります。

◆カードの使い方

子育て応援事業の協賛店（ステッカーが目印）でカードを提示してください。各協賛店ごとに、それぞれ特典を受けることができます。

◆協賛店情報

協賛店や特典内容を掲載したリストとカードを同封の上、発送します。協賛店の最新情報は、「こまえ子育て

◆協賛店募集

子育て応援事業の協賛店になっていただけるお店を随時募集しています。協賛いただける店舗等には、「こまえ子育てねっと」に特典内容および店舗情報を掲載する他、ステッカー等を配布し、お店のPRを行っていきます。協賛いただける場合は、子育て支援課にお問い合わせてください。

協賛店はこのステッカーが目印です

狛江市
子育て応援事業
協賛店
子育て世帯を
みんなで応援しよう

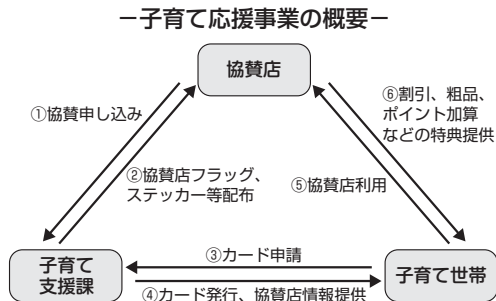
子育て応援事業は、子育てしやすいまちを目指し、市内協賛店を始め、市全体で子育てを応援する事業です。

こまえ子育て応援カードをお持ちの方に以下の特典があります。

見本

特典を受ける場合はカードをご提示ください。

【お問い合わせ先】
狛江市児童青少年部子育て支援課企画支援係
電話：03-3430-1111 内線：2311・2312
※こまえ子育て応援カードは、中学校3年生以下の子どもの世帯に発行しています。



協賛店や特典内容を掲載したリストとカードを同封の上、発送します。協賛店の最新情報は、「こまえ子育て支援課企画支援係」にお問い合わせてください。

※原則、市内のあらゆる業種を対象に募集しています。ただし、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」第2条に規定する風俗営業等を行う店舗は除きます。



—その 216—

戦時中の小田急電車

3月10日は東京都平和の日、
狛江駅の周辺にはいくつかの
防空壕が掘ってあった。走って
いる電車は敵の攻撃目標になり
やすいし、特に小型機のいい攻
撃目標になる。また、薄っぺら
な鉄板や板張りの屋根では敵の
銃弾を防ぐことはできないから、
空襲警報が発令されると電車を
止め、乗客はみな降ろされて避
難した。

電車は夜間走るために前照灯
と尾灯に、ルーバーという丸い
筒の中に、鉄板何枚かをやや下
向きにして、平行に並べたもの
を付けていた。それにより光は
前と後ろからしか見えなくなる
ので上空からは見えないのであ
る。

ルーバーは信号灯にもつけて
あった。狛江から和泉多摩川に
向かう線路伝いに並んでいる青
黄、赤の信号灯も同じで、走行
中の電車からは見えても、よほ
ど低空飛行で来ない限り上空の
飛行機からは見えないのである。
踏切についても、警手が遮断
機を閉めるところもあったが、
大部分が無人踏切で、しかも警
報機など光を放つものはなかつ
た。だから歩行者の方が注意し
ていた。

電車のルーバーも信号機のル
ーバーもみな黒く塗られていた。
電車もあんな色だったし、黒も
あんな色も光を反射しないから
夜間でも目立たないのである。
昭和18年ごろ、村人の中に多

摩川鉄橋の上を蒸気機関車が通
るのを見た人がいた。小田急電
鉄五十年史によると、電気機関
車も走ったという。空襲で東海
道線が不通になったとき、東京
から西へ向かって小田急線を代
替路線にしようというのである。
そのためには、あの大きくて重
量のある機関車が、無事に橋脚
やトンネルの壁面に接触するこ
とがないか。線路や橋梁があつ
た重量に耐えられるかどうかとい
う幅員や重量テストのための試
験運転だったのである。下北沢
駅で、上を通る井の頭線のガー
ドの橋脚を削った跡がでこぼこ
になって今も残っている。

これも小田急電鉄五十年史に
よるが、電車の不足も深刻だつ
たとある。軍事優先の時代だか
ら車両の製造はほとんど行われ
ていないのに、保有している電
車を休むまもなく運転する。そ
こで故障が多い。部品だつて手
に入らない。そこで動ける電車
が少なくなってしまう。そのた
め混雑が激しく、狛江駅から喜
多見駅や和泉多摩川駅など2 km
以内の定期乗車券と、普通乗車
券も通勤時間帯には特別の場合
のほかは売らなかつたと。もし
て終戦間際には和泉多摩川駅も、
隣の駅に近い理由で閉鎖された。
また、戦争が激しくなるにつ
れ男性職員の多くは出征し、そ
のあと駅の出札や改札など、や
がては車掌や運転手にも女性が
採用されるようになったとある。
しかし、狛江駅に女性職員が配
置されていたという話は聞くこ
とができなかつた。

井上 孝

（狛江市文化財専門委員）

むし歯予防教室

〔対象・日程〕▽1歳児から1
歳6カ月児までの保護者 4月
18日(水)▽1歳7カ月児から2歳
児までの保護者 4月19日(木)

〔時間〕午前10時～11時

〔定員〕各15人

〔持ち物〕母子健康手帳・黒イ



平成24年度狂犬病予防集合注射

狂犬病は発病後、ほぼ100
%死亡する恐ろしい病気です。
集合注射会場または動物病院で、
毎年1回必ず接種してください。

また、生後91日以上の子犬は
一生に一度登録が必要です。

まだお済みでない場合は、集合
注射会場または市民課で登録手
続きをしてください（登録手数
料3,000円）。動物病院で接



種を受けた場合は、
飼い主が注射済票
の交付申請を市民
課で行ってください。
●注意事項
▽犬の体を清潔に
して犬を制御でき
る方が連れて来て
ください。
▽犬同士や人に対
する咬傷等のトラ
ブルは飼い主の責
任となります。
▽妊娠・発熱等、
犬の健康状態に異
常がある場合は、
事前に申し出てく
ださい。
▽引き綱は丈夫な
鎖等を使用し、首

平成24年度 狂犬病予防集合注射日程

日 程	時 間	会 場	料 金
4月9日(月)	午前10時～11時	市役所前市民ひろば (和泉本町1-1)	3,550円 (内訳) 注射 3,000円 済票 550円
	午後2時～3時	岩戸八幡神社 (岩戸南2-8)	
4月10日(火)	午前10時～11時	いなげや狛江東野川店駐車場 (東野川3-1)	
	午後2時～3時	白幡菅原神社 (猪方2-4)	
4月11日(水)	午前10時～11時	前原公園 (西野川3-11)	
	午後2時～3時	伊豆美神社 (中和泉3-21)	

※他市区町村の集合注射会場で注射を受けることはできません。
※雨天決行
※犬の死亡や、犬の所有者変更、市内転居などがあったときは届け出が必要です。
※登録をしている方には、予防注射のお知らせ・予診票を送付します。必ずお持ちください。

エコルマホール主催公演

好評発売中

※いずれの公演も未就学児はご遠慮ください。
託児サービスあり（有料・2歳以上・要予約）

■三浦一馬 バンドネオン・コンサート～しなやかに、そして大きく自由に飛翔する～



〔日時〕5月19日(土)午後3時開演
〔チケット〕全席指定 一般3,000円 高校生以下1,000円※当日、要学生証など
〔出演〕バイオリン：石田泰尚、コントラバス：黒木岩寿、ピアノ：山田武彦

〔曲目〕ガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」、ピアソラ「リベルタンゴ」、「アディオス・ノニーノ」、他

■熊本マリピアノ・リサイタル～心のうた～スペイン&日本「きらめく太陽のような、その美しい情熱が花開く」



〔日時〕6月10日(日)午後3時開演
〔チケット〕全席指定 一般3,000円 高校生以下1,000円※当日、要学生証など

〔曲目〕ロドリゴ「愛のアランフェス～アランフェス協奏曲第2楽章」、ファリャ「火祭りの踊り」など

■日本人の心に響く、美しい旋律を「橋幸夫と唄おう！叙情歌コンサート」

〔日時〕6月22日(金)午後2時30分開演



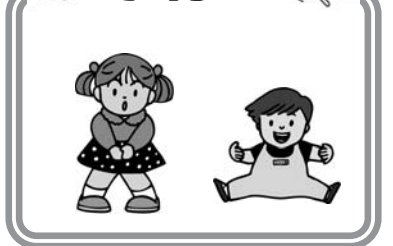
〔チケット〕全席指定 一般3,000円※一般発売は3月29日(木)から、倶楽部E発売は3月23日(金)から
〔内容〕▽第1部 みんなで歌おう！唱歌・叙情歌▽第2部 橋幸夫の思い出のヒット曲、他

エコルマホール窓口でのチケットの取り扱いは午前9時から午後7時まで（電話予約でも取り扱っています）。小田急〇×狛江店宝くじ売り場でも、ロビーコンサート以外のチケットを取り扱っています。

<http://www.ecorma-hall.jp/>

狛江市文化振興事業団 ☎ (3430) 4106

子育て



小学生〔定員〕先着15人

■わらべうたと絵本の会

〔日程〕3月27日(火)〔対象・時間〕▽0～1歳児・午前10時30分～10時50分▽2歳児以上・午前11時～11時20分

■カラオケタイム〔日時〕3月28日(水)午後4時～6時〔対象〕小学生

■ひまわりルームの忘れ物処分 忘れ物を廃棄しますので、心当たりのある方は3月31日(木)までにお越しください。

◎和泉児童館
☎ (3480) 1441

■児童館へ遊びに行こう

〔日時〕3月19日(月)午後3時～4時〔対象〕新小学校1年生

■折り紙タイム「くす玉を折ろう」〔日時〕3月23日(金)午後3時30分～4時30分〔対象〕

◎岩戸児童センター
☎ (3489) 5414

■ロッキンシネマズ〔日時〕3月16日(金)午後3時～5時

〔対象〕小学生
■スタッフタイム「しのちゃん」3月23日(金)から

んのわんぱく相撲大会」

〔日時〕3月22日(木)午後3時30分～4時45分〔対象〕小学生〔内容〕みんなで力くらべ

◎子ども家庭支援センター
☎ (5438) 6606

■はいはいクラブ・よちよちクラブ・とつとつクラブ〔日

程・対象〕▽月1回月曜日とつとつクラブ（2歳以上の子ども）▽月1回火曜日ははいはいクラブ（はいはいからつかまり立ちの子ども）、よち

よちクラブ（1歳すぎ～2歳の子ども）〔時間〕午前10時30分～11時30分〔内容〕発達に応じた親子遊びや保護者の交流、誕生会など〔申し込み〕3月23日(金)から

平成24年度

ママパパ学級

現在第1子妊娠中のお母さん・お父さんのための講座です。妊娠中の生活、出産、育児について学びながらお友だちづくりをしませんか。

【日程】左表のとおり※要予約

【時間】▽1・2回目 午後1時～4時▽3回目 午前9時30分～午後零時30分

【内容】▽1回目 妊娠中の生活・家族計画、妊婦体操（実習）▽2回目 赤ちゃん

のいる生活（先輩ママの話）、妊娠中の食事・食事バランスチェック、赤ちゃんともママパパのためのサービス▽3回目 赤ちゃんの沐浴・おむつ交換（実習）、パパのための妊婦体験、育児の話とほのぼのふれあいなど※各回とも動きやすい服装でお越しください。

【会場・申し込み・問い合わせ】健康支援課健康推進係（あいとびあセンター） ☎（3488）1181へ。

■平成24年度ママパパ学級開催日

実施月	1回目	2回目	3回目
4月	6日(金)	13日(金)	14日(土)
5月	11日(金)	18日(金)	26日(土)
6月	8日(金)	15日(金)	23日(土)
7月	6日(金)	13日(金)	28日(土)
8月	3日(金)	10日(金)	25日(土)
9月	7日(金)	14日(金)	29日(土)
10月	5日(金)	12日(金)	27日(土)
11月	2日(金)	9日(金)	10日(土)
12月	7日(金)	14日(金)	22日(土)
平成25年1月	11日(金)	18日(金)	26日(土)
2月	8日(金)	15日(金)	23日(土)
3月	8日(金)	15日(金)	23日(土)

市役所ロビー 絵手紙展

「絵手紙発祥の地―狛江」実行委員会による絵手紙展を開



絵手紙が来庁者の皆さんをお迎えします

催します。狛江―絵手紙サポーターからいただいた絵手紙や、1月に募集した「元氣が出る絵手紙」等を展示します。ぜひお越しください。

【日程】3月23日(金)～4月11日(水)

【会場】市役所2階ロビー

【問い合わせ】絵手紙発祥の地―狛江」実行委員会事務局

（地域活性化課市民文化係）

インフォメーション

お知らせ

■会食会に参加しませんか

【会場・曜日】▽あいとびあセンター・第1火曜日または第2

金曜日▽南部地域センター・第

2金曜日▽野川地域センター・第

4金曜日【時間】正午～午後

1時【対象】65歳以上の高齢者

で自力またはボランティアの協

力を得ることににより会食会に参

加できる方【定員】若干名※一

人につき1会場【自己負担金】

1回500円

【申し込み・問い合わせ】3月

16日(金)から27日(火)までに、介

支援課高齢者支援係へ。

■第二中学校武道場内覧会、武

道場を新築

太陽光発電や壁面緑化など環

境に配慮し、災害時には地域の

募集

■エイレス・ライフ実践者お

よび社会参加活動事例、高齢期

における生活の参考に、

【推薦対象】▽エイレス・ラ

イフ実践者 年齢にとらわれず

自らの責任と能力において自由

で生き生きとした生活を実践し

ている高齢者▽社会参加活動

積極的な活動を通じて社会との

かかわりを持ち、生き生きとし

た生活を送っている、おおむね

65歳以上の方を中心に構成して

いるグループ等※自薦他薦は問

いません。詳しくは、ホームペ

ージ (<http://www8.cano.go.jp/kourei/>) をご覧ください。

【申し込み】3月16日(金)から26

日(月)までに、活動内容などが分

かる書類を介護支援課高齢者支

援係へ。

【問い合わせ】内閣府高齢社会

対策担当 ☎（3581）9268

狛江市シルバー人材センター ☎（3488）6735へ。

■平成24年度国税専門官

【対象】▽昭和57年4月2日か

ら平成3年4月1日生まれの方

▽平成3年4月2日以降生まれ

で、大学を卒業、平成25年3月

までに大学を卒業見込み、また

は人事院が同等の資格があると

認める方【内容】国税局や税務

署で、法律・経済・会計などの

知識を駆使し、租税収入を確保

する事務【試験日】▽第1次

6月10日(日)▽第2次 7月17日

(火)から24日(火)までのうち指定さ

れた日※詳しくは、人事院ホー

ムページ (<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>) も

ご覧ください。

【申し込み・問い合わせ】4月

3日(火)までに、武蔵府中税務署

8

■狛江市シルバー人材センター

嘱託職員

【対象】普通自動車運転免許所

図書館

◎南部地域センター

☎（3489）2150

■なんぶ親子で楽しむおはなし

会【日時】3月16日(金)午前11時

から【対象】乳幼児と保護者

【大型絵本】ぐりとぐら【パネ

ルシアター】カ

レーライス【工

作】なにをいれ

ようかな

■なんぶおはなし会【日時】3

月16日(金)午後3時30分から【対

象】幼児、小学校低学年【絵本

】ぼんぼるとんぼなんのおと【お

はなし】ねずみのすもう【工作

牛乳パックのりゅう

ため、平成15年から3・4カ

月児健診を受診する全ての赤

ちゃんと保護者を対象に赤ち

さと大切さを伝えるとともに、

絵本1冊とお勧め本リストを

手渡す「ブックスタート」を

ブックスタートを
ご存じですか



赤ちゃんのからだに母乳やミルクが必要なように、こころと言葉を育むためには、やさしく語りかけてもらう時間がとても大切です。

赤ちゃんと保護者が絵本を通じてこのかけがえのないひとときを持てるよう応援する

平成23年度3・4カ月児健診対象者で、ブックスタートを受けていない方は健診通知に同封した引換券をお持ちください。ブックスタートの説明と絵本をお渡しします（午前10時～午後5時）。

なお、引換券を紛失された方は、お問い合わせください。

【問い合わせ】中央図書館 ☎（3488）4414